



## 学長からのメッセージ

中国学園大学学長 岸田 嘉一

最近、テレビをつけて見ると、食べ物とスポーツの番組が随分多いようである。人間にとって食べて運動することは健康を保つ基本だから、興味が集中するのも無理ないのかもしれない。尤も、どの番組を見ても同工異曲なのは気になるが。

食べ物の番組ではどの番組でも出演者が、いかにも美味しそうな顔や動作をするのが定番のようだが、本当に美味しいものばかりではないことはいまでもあるまい。ものの旨い不味いはその場の状況によることがある。気分よく食べれば消化もよいし、栄養の吸収もよいが、不愉快だとどんなに旨くも栄養のある食べ物を食べても下痢をしてしまうということもある。フランスの家庭で食事の最後に皿に残ったソースをフランスパンできれいにふき取って、食べてしまうことがある。お行儀はよくないが、それで結構満足するし、腹の納まりはよいようである。ざる蕎麦のあとで蕎麦湯を飲むようなものだろうか。

大学の授業も同じようなもので、気分よく授業を聴けば、内容が身につくし、授業後、先生に質問すれば、蕎麦湯を飲んだような効果があるだろうと思う。大学の四年間を気分よく過ごすには、自分で「蕎麦湯を飲む」努力もしてもらいたいと思います。



## 編入学生の決意

「新たな希望と期待」

笹野 早耶香

(3年次編入、聖カタリナ女子短期大学卒業)

入学式当日、私は多くの不安と戸惑い、そして希望と期待を抱いて式に臨みました。私は編入生ですので学業や友人関係に対して不安がありましたし、新しい大学や人々、またその雰囲気戸惑いを隠せませんでした。幸い、同じ短大から編入した友人が二人いましたので、ある程度の緊張は解かれたものやはり不安感は拭えませんでした。

入学して二日過ぎ、他の編入生とは親しくなれましたが、まだ3年次生とは話が出来ない状況にありました。そのような中、3年次生が私達編入生のために歓迎会を催してくれました。そこで私は初めて3年次生と話をしたのですが、皆さんとても気さくに話し掛けてくれて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。そして約2ヶ月経った今、不安と戸惑いは解消され、新たな希望や期待が私の中に溢れています。学業は大変ですが、とても充実した日々を送っております。残り2年足らずの大学生活ですが、悔いの無いものとしていきたいと思っております。

「他学部からのハンデを乗り越えて」 寺島 理恵子

(2年次編入、兵庫県立姫路工業大学理学部卒業)

今年の3月に兵庫県立姫路工業大学(今年度より兵庫県立大学に改名)理学部物理科学科を卒業し、4月からこの中国学園大学の2年次編入生として勉強させて頂いています。他学部からの編入ということもあり、知らない事が多かったり、様々な場面でギャップを感じたりと、当初は不安も多く余裕のない毎日でした。でも、優しく素直な同級生達、色々ご配慮下さる先生方と過ごすことで不安も軽減され、徐々にこの生活にも慣れてきました。

この大学に編入したからには、管理栄養士の試験合格が当然の目標となりますが、私は他学部からの編入という大きなハンデがあります。まずはそのハンデを少しでも解消するために、積極的に多くの事を吸収するように努めたいです。そして出来るだけ早く自分の管理栄養士としての将来像を明確にし、その実現に向かって邁進したいと思っています。

## 新入生歓迎会

「新入生を迎えて」

山本 文恵

(人間栄養学科2年)

私達2年生は、4月6日(火)に新入生歓迎会を開催しました。歓迎会の準備には、春休みの2月からクラスリーダーを中心にクラスの皆にも来てもらってメニュー決めや、試作などをしました。先生との話し合いの中で「人間栄養科らしいメニューにしよう」ということになり、1年生での授業を生かし、サンドイッチのパンを玄米パンとバターロールにし、フィリングもポテトサラダとバンバンジー風という、ひと手間加えた私達だけのオリジナルのサンドイッチを作りました。試作の段階ではどうなることかと不安でしたが、先輩方や先生方にアドバイスをいただきながら無事当日を迎えることができました。準備はすごく大変でしたが、新入生にも喜んでもらえて今回の経験が私達にとってとても勉強になりました。この歓迎会で、新入生と私達2年生の距離も近くなったことと思います。そして、これからの色々な場面で新入生と私達が協力し合って大学生活を送っていききたいと思っております。



## 入学宣誓式挙行



4月2日、中国学園大学の入学宣誓式が本学園音楽ホールにおいて挙行され、第3期生が誕生しました。当日は、新入生に加えて編入生も列席し、ホールは期待に漲った学生で溢れるばかりとなりました。そして、緊張の中に厳かに式が進行していきました。岸田嘉一学長の式辞、中島博理事長の祝辞に続いて新入生代表の江藤圭子さんが入学宣誓を行いました。最後に本学園の日高好一教授(テノール)、大山佐和子講師(ピアノ)による学歌独唱があり、これからの希望あふれる学生生活を予感させるような感動的な式となりました。(講師・上田 由喜子)

「毎日を有意義に」

江藤 圭子

(人間栄養学科1年)

4月2日、私達新入生は、これから始まる大学生活に大きな不安を感じながらも、期待を胸に校門をくぐりました。入学宣誓式では、岸田学長をはじめ、中島理事長や在学生である先輩から貴重なお言葉をいただきました。その中でも特に心に残っているのは、学長の式辞の中にあつた「自主自律」という言葉です。自分でよく考え自分で行動するということは、もう子供として見てはもらえない今、とても大切なことだと思うからです。そのことは私達が目指す管理栄養士にも必要な要素だと思います。大学は社会に踏み出す第一歩だと思っています。管理栄養士に必要な知識はもちろん、中国学園大学の4年間で学ぶさまざまなこと(体験)は、貴重なものになるでしょう。管理栄養士として、また社会で生きる大人として立派な人間になれるよう、この言葉を胸に「毎日を有意義なものにしたい」と心に決めています。



### 「2年生の先輩方との昼食会」

上田 美菜子

(人間栄養学科1年)

4月6日、私たちは2時限目が終了後、2年生の先輩方が企画してくださった昼食会へ行きました。テーブルに座った直後は緊張のためかぎこちない雰囲気でしたが、先輩方が話しかけてくださって少しずつ心が和んできて、先輩に質問をしたり逆に質問されたりしながら様々な会話を交わしました。先輩方による手作りのサンドウィッチは、バランス良く具が挟んでありとてもおいしかったです。私たち1年生のために心のこもった昼食会を開催していただき、とても嬉しく楽しい時間となりました。

## 新入生宿泊研修

藤井 光子 (人間栄養学科1年)

4月16・17日に、山陽ハイツでの宿泊研修会に参加しました。研修会では、先輩の指導の下に、「将来のこと」「学生生活への期待」など、各班テーマに分かれて意見を出し合って模造紙にまとめて発表しました。どの班も、時間いっぱいまで精一杯頑張ってまとめていて、よい作品に仕上がっていました。先輩も、最後まで私達に付き合ってくださり、とてもありがたく感じました。

大学生になってのはじめての宿泊研修は、最初はクラスメイトと仲良くなれるかどうか不安もありましたが、この研修を通して交流を深めることができよかったです。今回の研修で得たものは多いように思います。これからの学生生活を送るなかで、生かしていきたいと思っています。



## 2年生宿泊研修

高木 秀明 (人間栄養学科2年)

2月5・6日の2日間、私たち2年生はテーブルマナー研修に行きました。1日目は岡田製糖所、徳島大塚製菓工場、北淡町震災記念公園を見学、宿泊先の六甲山ホテルでテーブルマナーの基礎知識を学びました。

岡田製糖所では非常に伝統のある製法で機械の進歩した時代でも手作業にこだわっているところがとてもすばらしきと感動しました。大塚製菓工場はやはり完全機械性で製品が生産されていて、先に見たものと両極端のものを感じました。

2日目は神戸市立博物館で作品を鑑賞、中華街や北野地区など神戸の町を散策しました。

研修の2日間はすべてが初めてのことでとても貴重な体験をしたと思います。特に岡田製糖所の方々の仕事に対する情熱やひたむきな努力には心打たれました。自分ももっと努力して行こうと思えたり、これからの仕事に情熱を燃やせたらいいなと思いました。

たくさんの発見、貴重な体験ができ、とても充実した2日間でした。



## 新任教員紹介

—横山 純子 講師—

人間栄養学科の前身であります中国短期大学食物栄養専攻で、14年間お世話になりました。そして、再びご縁をいただき給食経営管理分野の担当として、勤務させていただくことになりました。この5年間は、岡山大学医学部研究生としてのとりくみを中心に、医療、保健、福祉系の短期大学および専門学校で非常勤講師として講義を担当しておりました。研究は、肝臓疾患の栄養アセスメント、肝硬変・肝癌症例の脂肪酸栄養状態につい



てとりくみ、栄養治療の必要性和意義を検討してきました。また、病院内での活動を通じ、多くの出会いと管理栄養士の実務を体験する機会にも恵まれ、有意義な日々でした。これまでの経験をいかし、管理栄養士に求められていることは何かをとらえながら、教育・研究に携わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

—小宮山 展子 助手—

今年4月より、本学にお世話になることとなりました。管理栄養士を目指す学生の方々に困られた場で働くことができるのを幸いに思います。

この気持ちを忘れないように、精一杯、頑張ろうと思っています。よろしくお願いいたします。



—齋藤 さな恵 助手—

本年4月より本学に勤めさせていただくことになりました。私は3月まで岡山県内の大学で大学院生として研究をしていました。社会人としては1年目で毎日手探り状態ですが、学生のみなさんと共に学んでいく気持ちで努力していく所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。



## 中国学園大学公開セミナー

第16回 森次 益三 教授 (平成16.1.22.16:30~, 1301教室)

「私の研究、特に微量元素に関する研究」

1965年頃から多様な研究を行ってきたが、ここでは本学で行った食品に関連する研究に限り要約する。

学生たちの食事指向から各種無機養分の摂取状況を比較すると、亜鉛摂取量がやや少ないようであった。一方、施肥や栽培法など農業を取り巻く環境条件から考えると、植物性食品のミネラル含量はだんだん低下する方向と思われた。亜鉛は蛋白質代謝を始め人体の重要な代謝活動と密接に関係しているが、潜在的欠乏は自覚しにくく、それが人々のQOLを低下させている可能性もある。そこで、今後は日常的に亜鉛を充足できる食事について考え、また、植物性食品の亜鉛含量を増す方法についても研究したいと思う。

## AO入学のお知らせ

中国学園大学のAO入学は、従来の入学試験と違い、みなさんと私たちの話し合いによる相互理解をベースに、将来を前向きに意欲的に考えているみなさんに入学のチャンスを提供する制度です。

エントリーから合格まで  
エントリー → 面談日の確認連絡 → 面談 →  
出願許可通知 → 出願 → 審査 → 合格通知

17年度のAO入学スケジュール (平成16年)

	面談日	エントリー期間	出願期間	審査日	合格発表
第1回	7/24	7/5~7/15	10/18 ~ 10/25	11/2	11/9
第2回	8/21	8/5~8/16			
第3回	9/11	8/26~9/6			
第4回	10/9	9/24~10/4			

## 平成17年度編入学のお知らせ

現代生活学部人間栄養学科では平成17年度の編入学生(3年次編入)の募集を行っています。指定校推薦と一般選考があります。ふるってご応募下さい。

◆ 試験期日—I期:平成16年6月26日(土)、II期:平成16年9月11日(土)、III期:平成17年3月3日(木)(一般選考のみ)の3回です。